

UNI をロック解除するプロセスは Prime Provisioning Sybaseデータベースの Synchronization タスクを共有しました

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料は Prime Provisioning Sybaseデータベースのユーザネットワーク インターフェイス (UNI) 共有 synchronization タスクを解決するためにおよび/またはロック解除するためにステップバイステップ手順を記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 構造化照会言語 (SQL)
- Prime Provisioning サービス リクエスト (SR) およびタスク作成

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Prime Provisioning 6.1 以上に
- Oracle Database 11G リリース
- Sybaseデータベース

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

Prime Provisioning アプリケーションは新しいイーサネット バーチャル サーキット (EVC) SR を作成する投げままたは EVC SR を編集しまとき例外を既に存在 します:

```
1940 : Job ID[xxxx - Edit/Create operations are not allowed before completing shared UNI sync task | xxxx
```

解決策

execute プライマリ Prime Provisioning Sybaseデータベースのプロシージャをロック解除します:

ステップ 1. Prime Provisioning サーバへの接続応答は **iscadm** (Prime Provisioning アプリケーションのユーザー) にソケット セル (SSH) セッションを保護し、インストール ディレクトリを基づかせるためにナビゲート します。

ステップ 2. Prime Provisioning Sybaseデータベースに接続すること準備ができるために SSH セッションを設定して下さい:

```
1. cd $ISC_HOME
2. ./prime.sh shell
3. cd bin
4. source vpnenv.sh
5. cd $SYBASE_HOME/bin
6. source sa_config.sh
```

ステップ 3. Prime Provisioning アプリケーションを完全に停止して下さい:

```
./prime.sh stopall
```

ステップ 4.開始するおよび Intialize Prime Provisioning Sybaseデータベース:

```
./prime.sh startdb
./prime.sh initdb.sh
```

ステップ 5. Prime Provisioning Sybaseデータベースへの接続応答:

```
dbisql -nogui -c "uid=DBA;pwd=sql" -port 2630
```

注: PP ホーム ディレクトリからのより多くの **runtime.properties** コマンドの出力のこれらのパラメータを確認して下さい。 **db_usr** および **db_pwd** 値を探して下さい。

ステップ 6. Prime Provisioning によってスローされた例外でカバーされるタスク ID を確認して下さい:

```
select * from SHARED_UNI_SYNC_INFO;
```

ステップ 7.同期化タスクによって包含される必要がある他の SR の詳細をキャプチャして下さい:

```
select * from SHARED_UNI_SYNC_TARGET;
```

ステップ 8.共用 UNI タスク詳細を削除して下さい:

```
delete SHARED_UNI_SYNC_TARGET where KEY_LINK_INFO_ID = <task_id>
delete SHARED_UNI_SYNC_INFO where id = <task_id>
```

注: **task_id** は Prime Provisioning によってスローされた例外でカバーされるタスク数です。

ステップ 9. Prime Provisioning アプリケーションを開始して下さい:

```
./prime.sh start
```

ステップ 10. **Prime Provisioning** へのナビゲートは **GUI >> タスク マネージャ** 動作し、タスクを選択し、『Delete』をクリックすることができるタスクが削除される同期された共用 UNI によってフィルタリングし。

ステップ 11.同期化タスクを起こし、強制ページを行う SR 数 **NavigatetoServices 要求マネージャ** およびフィルタ。

注: SR の強制ページを実行する前に、**VLAN ID、PE、インターフェイス先祖**などのようなすべての SR 詳細についてのメモを奪取して下さい

ジョブ削除および同期化が任せた後、デバイスで今新しい SR を作成でき、ブロックされたおよび今オペレータによって使用されるためにリリースされますインターフェイス。SR を再度作成し、展開できます。